

16 For in him all things were created: things in heaven and on earth, visible and invisible, whether thrones or powers or rulers or authorities; all things have been created through him and for him. 17 He is before all things, and in him all things hold together. 18 And he is the head of the body, the church; he is the beginning and the firstborn from among the dead, so that in everything he might have the supremacy. 19 For God was pleased to have all his fullness dwell in him, 20 and through him to reconcile to himself all things, whether things on earth or things in heaven, by making peace through his blood, shed on the cross.

### コロサイ人への手紙 1:16-20

16 事実、キリストはすべてのものの創造者なのです。天にあるものも地にあるものも、目に見えるものも見えないものも、霊の世界の王座も主権も支配も権威もすべて、この方がご自身の目的と栄光のために造られたのです。17 キリストは他のすべてのものに先立って存在し、すべてのものは、キリストによって成り立っています。18 ですからキリストは、ご自分に属する人々からなる体〔すなわち教会〕のかしらです。キリストは、だれよりも先に死者の中から復活された方です。こうしてキリストが、あらゆる点で第一の地位を占めておられるのです。19 神は、ご自分のすべてが御子の中に宿ることを望み、20 キリストの十字架の血によって、天と地のすべてのものが神のもとに行く道を開いてくださいました。神の子キリストが十字架の上で死なれたことにより、すべてのものが、神との平和な関係を持つに至ったのです。

### Introduction

Last Sunday, we began our study on the supremacy of Christ. We extol Him as...

### The King who reigns

### The Redeemer

### The Image of the invisible God

### The Firstborn over all creation

先週の日曜日は、イエス・キリストの主権についてお話ししました。

その中で、私たちはイエスキリストを次のように表現します。

王として君臨するお方

贖い主であるお方

見えない神の姿をしているお方

すべてのものが造られる前に生まれた方

Today, we'll build on those truths and proceed to the next verses 16~20.

今日は、これらの真実をふまえ、更に16~20節を見ていきます。

I. He is the Lord of creation – verses 16~17節には、イエス・キリストはすべてのものの創造者であると書かれています。

16 For in him all things were created: things in heaven and on earth, visible and invisible, whether thrones or powers or rulers or authorities; all things have been created through him and for him. 17 He is before all things, and in him all things hold together.

16 事実、キリストはすべてのものの創造者なのです。天にあるものも地にあるものも、目に見えるものも見えないものも、霊の世界の王座も主権も支配も権威もすべて、この方がご自身の目的

と栄光のために造られたのです。17 キリストは他のすべてのものに先立って存在し、すべてのものは、キリストによって成り立っています。

Other parts of the NT confirm this truth about our Lord Jesus Christ.  
新約聖書の別の部分にもこの真実を確認できる節があります。

John 1:3 - Through him all things were made; without him nothing was made that has been made.

ヨハネの福音書 1:3

3 このキリストが、すべてのものをお造りになりました。そうでないものは一つもありません。

Hebrews 1:3 - The Son is the radiance of God's glory and the exact representation of his being, sustaining all things by his powerful word. After he had provided purification for sins, he sat down at the right hand of the Majesty in heaven.

ヘブル人への手紙 1:3

3 御子は神の栄光を受けて、まばゆいばかりに輝いています。また、その人格と行動すべてにおいて神であることを示し、力あることばによって万物を治めておられます。そればかりか、私たちのすべての罪の記録を消し去ってきよめるために死んでくださいました。そして今は、最高の栄誉を受けて、天におられる偉大な神のそばにいらっしゃるのです。

Taken together we learn that this world where we live in was created by God and Jesus was the CREATIVE AGENT by which everything came into being! Moreover, everything was created FOR Him! He is the Divine Cause and the Reason for everything that exists.

これらの節から学べることは、私たちが住んでいるこの世は神様によって創造されたもので、その創造の主体はイエス・キリストである。さらに、すべてのものがイエス・キリストのために創造されたのです。イエス・キリストこそがすべてのものの存在の原因と理由である。

ILLUSTRATION: Why does a creator create something? For profit (to sell)? For use (a tool)? For admiration (like an artwork)?

クリエイターはなぜものを創作するのでしょうか。売って、利益を得るためでしょうか。手段や道具として利用するためでしょうか？または、美術品として称賛を得るためでしょうか？

APPLICATION: God created us for His purpose. We must seek to live for Him, to please Him, to glorify Him.

神様が私たちをご自分の目的のために創造してくれたのです。ですから、神様のために生き、神様を喜ばせるために、神様に讃えるために生きましょう。

Moving on to verse 17 we learn that Jesus is also...

II. He is the Divine Providence - verse 17 イエス・キリストは神の神意である  
次に17節イエス・キリストは神の神意であるということについて見ていきましょう。

17 He is before all things, and in him all things hold together.

17 キリストは他のすべてのものに先立って存在し、すべてのものは、キリストによって成り立っています。

God is involved in the world even today. He is NOT what Deists think or believe about God. Deism is a belief in the existence of a supreme being, specifically of a creator who does not intervene in the universe.

神様は今日もこの世の中に関わっています。それは理神論者が思っている神様ではありません。理神論主義というのは、「神」という存在を信じているのですが、その「神」は創造者だけで、世の中に全く関わっていないという考え方です。

Contrary to Deism, our verse today tells us that in Christ all things are kept in their present state. Their existence, order, and arrangement are continued in the present form by HIS power! In other words, Divine Providence.

でも、理神論主義と反対に、今日見た節から現状を保っている力はイエス・キリストである。すべてのものの存在、秩序、並び方などがイエス・キリストの力によって現状を保っている。言い換えれば、イエス・キリストこそが神の導きである。

Divine Providence, or simply Providence, refers to God's intervention in the Universe. The term Divine Providence can be divided into two (2) categories, namely: "general providence", which refers to God's continuous upholding of the existence and natural order of the Universe, and "special providence", which refers to God's extraordinary intervention in the life of people. Miracles generally fall in the latter category. 神の神意、または神意が「世の中に介入した神様」のことを意味します。この言葉の意味を二つの観点から理解できます。「一般的神意」と「特別な神意」。一般的神意というのは、神様が全世界の存在を保っていることです。そして、特別な神意は、人々の人生に神様が特別に加入していることです。奇跡が特別神意の証です。

ILLUSTRATION: Why Earth has the perfect location? What makes the Earth habitable? It is the right distance from the Sun, it is protected from harmful solar radiation by its magnetic field, it is kept warm by an insulating atmosphere, and it has the right chemical ingredients for life, including water and carbon. 考えてみてください。地球はなぜ完璧な位置に置かれているのでしょうか。地球だけになぜ命があるのでしょうか。太陽からぴったりの距離にあって、地球の磁界が有害な太陽線から守り、絶縁性のある大気で暖かさを保っている。さらに命を持続するため水や炭素などの科学材料を持っている。

Isaiah 40:12 - Who has measured the waters in the hollow of his hand, or with the breadth of his hand marked off the heavens? Who has held the dust of the earth in a basket, or weighed the mountains on the scales and the hills in a balance?

イザヤ書 40:12

12 主のほかにだれが、手で海を支え、手の幅で天の大きさを測ったでしょう。だれが、地球の重さと、山や丘の重さを知っているでしょう。

In December 2021, Faith entered the hospital for a very long and delicate heart surgery. Actually, she was operated on twice. Her life was hanging in the balance. She told me that she's thankful to the Lord for each day that she wakes up knowing that she is alive. Amazingly, she received her Master's degree while still in her hospital bed in July -- just last month. Finally, she got out of the hospital on Wednesday last week. Praise the Lord!

2021年12月にFaithさんが入院し、長時間に渡り、複雑で繊細な心臓手術を受けました。実際、彼女は二回も手術を受けたのです。彼女の命にも危険がありました。しかし、彼女は私にこう言いました。「毎日生きていることに神様に感謝しています」。驚くことに、入院中にも関わらず、彼女はこの7月に大学院卒業書をもらい、そして、先週の水曜日に退院しました。神様に賛美しましょう。

APPLICATION: "Cast all your anxiety on him because he cares for you" (1 Peter 5:7). The God who is powerful can do the impossible.

ペテロの手紙 1 5:7

7 思いわずらいを、すべて神にゆだねなさい。神があなたがたのことを心配してくださるからです。

力のある神様が不可能なことも成し遂げるのです。

### III. He is the head of the body, the church – verse 18a

次に、18節、キリストは、ご自分に属する人々からなる体〔すなわち教会〕のかしらであるということを見ていきましょう。

And he is the head of the body, the church...

18 ですからキリストは、ご自分に属する人々からなる体〔すなわち教会〕のかしらです。

Those called out by the gospel of Christ into His kingdom form a great assembly or congregation, also called Church. The term "church" is used in two senses: (1) The church universal -- the body of saved believers throughout the world; and, (2) The local church -- a congregation of saved believers in one locality like us, Minoh International Church.

福音を聞いてイエスキリストを信じる人々は「教会」と呼ばれている大きな集まりの一員になります。「教会」という言葉に二つの観点から使われています。まず、普遍的教会。つまり、全世界で罪から救われている信者たち。そして、現地的教会。ある場所にいる罪から救われている信者の集まり。私たち箕面国際教会がその一つです。

In the context of verse 18, Paul is speaking of the church "universal" (though it can be inferred that would be true in a "local" church as well).

18節ではパウロは普遍的教会の話をしていますが、時には、現地的教会にも当てはめるのです。

ILLUSTRATION: Gregory P. Elder tells of his experience as a sand sculpture. "Growing up on the Atlantic Coast, I spent long hours working on intricate sand castles; whole cities would appear beneath my hands. One year, for several days in a row, I was accosted by bullies who smashed my creations. Finally, I tried an experiment: I placed cinder blocks, rocks, and chunks of concrete in the base of my castles. Then I built the sand kingdoms on top of the rocks. When the local toughs appeared (and I disappeared), their bare feet suddenly met their match."

砂彫刻家であるグレゴリー・ピ・エルダー氏は自分の経験からこの話をしました。

「大西洋の海岸で育った私は長時間浜辺で複雑な砂の城を作ることにハマっていたのです。

時には、砂の街までも作ったのです。

ある年、数日に渡って、いじめっ子たちがやってきて私が作った城をすべて打ち壊したのです。

最終的に私はある実験を行いました。

砂の城の土台として、軽量コンクリートブロック、大きめの石やコンクリートを使って、その上にいつもの砂の城を作ったのです。

私はその場を去り、いじめっ子達がやって来ました。彼らは自分の素足を思いっきりコンクリートブロックに打ち付けたのでした。

Many people see the church in grave peril from a variety of dangers: secularism, politics, heresies, or plain old sin. They forget that the church is built upon a Rock (Mt. 16:16), over which the gates of hell itself shall not prevail.

数多くの人々が教会に立ち向かっている様々な危険を感じます。

世俗主義、政治、異端主義、罪！でも教会が岩の上に立っていることを忘れていているのです。

Matthew 16:18 - And I tell you that you are Peter, and on this rock, I will build my church, and the gates of Hades will not overcome it.

マタイの福音書 16:18

18 あなたはペテロ（岩）です。

わたしはこの大きな岩の上にわたしの教会を建てます。

地獄のどんな恐ろしい力も、わたしの教会に打ち勝つことはできません。

IV. He is the beginning and the firstborn from among the dead – verse 18b

次にキリストは、だれよりも先に死者の中から復活された方であるということを見ていきましょう。

18...He is the beginning and the firstborn from among the dead, so that in everything he might have the supremacy.

キリストは、だれよりも先に死者の中から復活された方です。

こうしてキリストが、あらゆる点で第一の地位を占めておられるのです。

The word, beginning refers to Christ as the origin and the active cause of the Resurrection (coming back from the dead). He is the first One to be truly resurrected and is now alive forevermore.

ここでは「先」という言葉は、イエス・キリストがすべての源であり、復活の原因でもあることを意味しています。

イエス・キリストが初めて復活された方で、永遠に生きているのです。

Actually, Jesus was not the first person to rise from the dead... Wait a second... I'm not contradicting myself. The Bible records several instances of people coming back to life (cf. Jairus' daughter, the son of the widow of Nain, and Lazarus). BUT Jesus Christ is the first to rise, never to die again, and is declared elsewhere to be the "FIRSTFRUITS" of the resurrection.

実際には、イエス・キリストが初めて死から蘇った方ではありません。

私は矛盾なことを言っていません。

聖書には死から蘇った人が何人かがいます。「ジャイラスの娘、ナインの未亡人の息子、ラザロが死から蘇ったのです」。

しかし、イエス・キリストこそが初めて死から復活して、2度と死なない永遠の命を得た方です。

聖書では「復活の初穂」と宣言されています。

1 Corinthians 15:20 - But Christ has indeed been raised from the dead, the firstfruits of those who have fallen asleep [died].

コリント人への手紙 1 15:20

20 しかし、事実、キリストは死者の中から復活しました。

そして、復活が約束されているすべての人の初穂となられたのです。

The term "firstfruits" suggests "the cream of the crop", meaning that which is pre-eminent.

「初穂」その年の収穫の最初の束を意味します。

つまり、何よりも誰よりも「先」ということです。

Here is our assurance because Christ was resurrected:

そして、イエス・キリストこそが私たちの確信なのです。

なぜなら彼は復活したからです。

1 Corinthians 15:42~44 - 42 So will it be with the resurrection of the dead. The body that is sown is perishable, it is raised imperishable; 43 it is sown in dishonor, it is raised in glory; it is sown in weakness, it is raised in power; 44 it is sown a natural body, it is raised a spiritual body.

コリント人への手紙 1 15:42-44

42 同じように、死んだら朽ち果てる、私たちの地上の体は、復活の時に与えられる体とは異なったものです。

復活の体は決して死にません。

43 いま持っている体は、病気や死で私たちを悩ませます。

しかし復活の時には、それは栄光に満ちたものとなるのです。

確かに、今は死ぬべき弱い体ですが、復活の時には力にあふれた体となるのです。

44 そして、今は死ぬべき人間の肉体にすぎませんが、復活の時には、神から与えられる霊の体になります。

自然のままの肉体があるように、神からの霊の体も存在するのです。

APPLICATION: In view of the resurrection that is to come, let us heed what the Word of God says, 未来にある復活という観点から、聖書の言葉を心に留めましょう。

コリント人への手紙 1 15:58

58 愛する皆さん。このように将来の勝利は確実なのですから、しっかり立って、動揺することなく、いつも、主の働きに熱心に励みなさい。

なぜなら、復活は確かであり、主のための働きが決してむだに終わらないことを、あなたがたは知っているからです。

V. He is the fullness of all things – verse 19

次に19節にあるイエス・キリストにすべてのものが宿る方であるということを見ていきましょう。

19 For God was pleased to have all his fullness dwell in him

19節 「神は、ご自分のすべてが御子の中に宿ることを望み、」

Animism is the belief that objects, places, and creatures all possess a distinct spiritual essence. It perceives all things—animals, plants, rocks, rivers, weather systems, human handiwork, etc.—as animated and alive. アニミズムとは自然のすべてのもの、場所や生き物に独特な霊がやどっていると考えた信仰です。すべてのもの、つまり、動物、植物、石、川、天気、人間の創造物などが生きてると信じているのです。

In Japan, the Shinto religion is an example of animism or at least, has many aspects of animism. Many Japanese people believe in innumerable spiritual beings concerned with human affairs and capable of helping or harming human interests.

日本では、神道は精霊信仰の実例です。

数多くの日本人は数え切れないほどの精霊が人間の日常に影響与えると信じています。

ILLUSTRATION: Kyoto, the ancient capital of Japan, has many Buddhist temples (1,600) and Shinto shrines (400). People go to worship in a particular temple or shrine depending on their need. For example, on New Year's Day many business people go to Fushimi Inari- taisha to pray for "good luck". Kitano Tenmangū is popular with students praying for success in exams because the deity was in his life a man of literature and knowledge. In Matsuo Taisha, many local sake and miso companies go to the shrine for prayers that their product will be blessed. In short, there's a deity for every need or situation.

日本の古都である京都に1600の仏教の寺院と400の神道の神社があるとされています。

人々は自分らのニーズによって違う寺や神社を訪れます。

例えば、幸運を祈るために、お正月に伏見稲荷大社に行き、試験合格を祈りたい方は北野天満宮に行き、酒や味噌の製品の成功を祈るためには松尾大社を訪れるのです。

簡潔に言えば、あらゆるニーズや状況に合わせた「神」が存在します。

Colossians 1:19 tells us that Jesus is clearly the fullness of deity. He is "the image of the invisible God" (1:15)

コロサイ人への手紙1:19では「キリストは、目には見えない神のかたちであり、神がすべてのものをお造りになる前からおられました」と書かれています。

Paul later declares that "in Christ all the fullness of the Deity lives in bodily form" (2:9).

後にコロサイ人への手紙2:9で、パウロはこのように宣言しています。

「キリストの内には、満ちあふれる神性が、余すところなく、見える形をとって宿っており

FULLNESS is the totality of the Divine powers and attributes. Therefore, He is ALL that we need.

Consider this: In Him we have "redemption through His blood, the forgiveness of sins" (1:14);

充満というのはすべての神的力と特質のことを指します。従って、私たちが必要としているのは「イエス・キリスト」だけです。イエス・キリストこそがすべてです。

コロサイ人への手紙1:14「この神の子は、ご自分の血という代価を払って、私たちを買い取ってください、すべての罪を赦してくださったのです」

コロサイ人への手紙2:3

"in whom are hidden all the treasures of wisdom and knowledge" (2:3);

このキリストのうちには、まだ私たちの知らない知恵と知識の宝がすべて隠されているのです

コロサイ人への手紙2:10

"and in Christ you have been brought to fullness. He is the head over every power and authority" (2:10).

ですから、キリストを自分のものとしているなら、すべてを手に入れたことになります。あなたがたはキリストと結びつくことによって神に満たされているのです。キリストは、すべての力を従えた、権威ある、最高の支配者です

Finally, we learn that Jesus is...

**VI. He is the consummate Peacemaker – verse 20**

最後に20節にある イエス・キリストが神との平和な関係を持つに至った方であるということを理解しましょう。

20 and through him to reconcile to himself all things, whether things on earth or things in heaven, by making peace through his blood, shed on the cross.

20 キリストの十字架の血によって、天と地のすべてのものが神のもとに行く道を開いてくださいました。神の子キリストが十字架の上で死なれたことにより、すべてのものが、神との平和な関係を持つに至ったのです。

Jesus' atoning work is complete and wide in its application. Yet we should not take Colossians 1:20 as an endorsement of Universalism – the belief that ALL people will eventually gain salvation. According to Universalists, the mere idea someone might go to hell is not compatible with the character of a loving God. If their claim were true, there would be no need for Christ to die on the Cross; sin and evil have no consequence; and, hell itself is just an empty threat.

イエス様がすべてのことを完成させたのです。しかし、コロサイ人への手紙1:20を普遍主義の宣伝として捉えてはいけません。普遍主義というのは、すべての人が最終的に救いを得るという信念です。普遍主義者によると、愛する神様が人々を地獄に行かせるという概念が矛盾していると強調します。その主張が真実であれば、イエス様が十字架に死ぬ必要はなかったでしょう。罪と悪は全く重大ではないし、地獄も見せかけの脅威に過ぎないのです。

But Christ came as the Peacemaker/Reconciler. Why?

しかし、イエス・キリストは神様と人間の仲裁役として来たのです。それはなぜでしょうか。

### Because sinners need to be reconciled to God

それは、罪人が神様に和解する必要があったからです。

2 Corinthians 5:18~20 - 18 All this is from God, who reconciled us to himself through Christ and gave us the ministry of reconciliation: 19 that God was reconciling the world to himself in Christ, not counting people's sins against them. And he has committed to us the message of reconciliation. 20 We are therefore Christ's ambassadors, as though God were making his appeal through us. We implore you on Christ's behalf: Be reconciled to God.

#### コリント人への手紙II 5:18-20

18 この新しい出来事はすべて神から出ています。神様は、キリスト・イエスの働きによって、私たちをご自分のもとに連れ戻していただきました。そして、この恵みによる神との和解を、すべての人に勧める特権をも、私たちに与えてくださったのです。19 つまり、キリストによって、この世をご自分と和解させ、その罪を数え立てずに、かえって帳消しにしてくださったのです。これが、人々に伝えるようにと私たちにゆだねられた、すばらしい知らせです。

20 こういうわけで、私たちはキリストの大使です。神様が、私たちの口を通して語りかけてくださるのです。キリストが懇願しておられるかのように、キリストに代わって、あなたがたにお願いします。どうか、差し出された愛を拒まず、神様と和解してください。

### Because Jews and Gentiles (non-Jews) need to be reconciled to each other

なぜなら、ユダヤ人と非ユダヤ人がお互いに和解する必要があるからです

Ephesians 2:14~18 - 14 For he himself is our peace, who has made the two groups one and has destroyed the barrier, the dividing wall of hostility, 15 by setting aside in his flesh the law with its commands and regulations. His purpose was to create in himself one new humanity out of the two, thus making peace, 16 and in one body to reconcile both of them to God through the cross, by which he put to death their hostility. 17 He came and preached peace to you who were far away and peace to those who were near. 18 For through him we both have access to the Father by one Spirit.

#### エペソ人への手紙 2:14-18

14 キリストこそ、私たちの平和の道です。この方は、私たちユダヤ人とあなたがた外国人とを一つの家族とし、両者を隔てていた壁を打ちこわして、平和をつくり出してくださいました。15 ご自分の死によって、互いの激しい敵意を除いてくださったのです。その敵意の原因は、ユダヤ人を特別扱いし、外国人をのけ者にするユダヤ教のさまざまな戒律でした。その律法制度自体を無効にするために、キリストは死んでくださったのです。そして、互いに対立していた二つのもを融合させ、新しい一つの体をつくり上げて、平和を実現されました。16 両者が神と和解し、同じ体のそれぞれの器官になったので、互いの怒りは消え去りました。こうして互いの反目は、十字架によって終わりを告げたのです。

17 そして、キリストは、遠く離れていたあなたがた外国人にも、近くにいた私たちユダヤ人にも、平和をもたらしてくださいました。18 このキリストによって、ユダヤ人も外国人も、一つの御霊に助けられつつ父である神のもとに行くことができるのです。

### Conclusion/Application

He is the Lord of creation. Seek to live for Him, to please Him, to glorify Him.

イエス・キリストはすべてのものの創造者です。：イエス様のために生き、イエス様を喜ばせ、栄光を讃え生きましょう。

He is the Divine Providence. The God who is powerful can do the impossible. Trust Him.



イエス・キリストは神意です。：不可能を可能にする力のある神様です。イエス様を信用しましょう。

He is the Head of the body, the church. Jesus takes care of the Body. Love and cherish it.

キリストは、ご自分に属する人々からなる体〔すなわち教会〕のかしらです。：

イエス様が教会を見守っています。私たちも教会を愛し、教会を大事にしましょう。

He is the Beginning and the Firstborn from among the dead. Stand firm in the faith and fully give yourself to His cause.

キリストは、だれよりも先に死者の中から復活された方です：信仰を強く持ち、この信仰のために自分のすべてを捧げましょう。

He is the Fullness of all things. Jesus is the answer to all our longings. He is all you need.

イエス・キリストにすべてのものが宿る方である：自分のすべてのニーズにイエス様が答えるのです。イエス様こそが自分が必要としているすべてです。

He is the consummate Peacemaker. Be reconciled to God. Be reconciled with each other.

イエス・キリストこそが神との平和な関係を持つに至った方です：神様に和解し、お互いにも和解しましょう。

Let us pray.